

相談窓口一覧

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）

高齢者の介護などの総合相談に応じ、必要に応じて適切なサービスにつなげます。

- 高齢者相談支援センター（JR東海道線から西側地域担当）（江端町六丁目13番地1/ふれ愛サポートセンタースピカ内）

Tel0562-45-5455
（JR東海道線から**西側**地域担当）

- 高齢者相談支援センター東分室（JR東海道線から東側地域担当）（東新町一丁目219番地/大府市社会福祉協議会内）

Tel0562-48-1051
（JR東海道線から**東側**地域担当）

こんな時に
ご相談ください

- 家族が認知症かもしれないけど、どうすればよいかわからない。
- 認知症と診断され、日常生活のサポートを受けたい。
- 近所に認知症かもしれない人がいて、気になる。

大府市役所（高齢障がい支援課）

介護保険や、市の高齢者福祉サービスなどの手続きや相談に応じます。**認知症地域支援推進員**を配置し、市の認知症施策を推進しています。

Tel0562-45-6289（直通）

こんな時に
ご相談ください

- 介護保険制度について知りたい、利用したい。
- 市の福祉サービスについて知りたい、利用したい。
- 認知症に関する情報が欲しい。

大府市保健センター（健康増進課）

認知症予防や介護予防を目的とした教室や、健康に関する出前講座を行っています。

Tel0562-47-8000

こんな時に
ご相談ください

- 認知症の予防について知りたい。
- 認知症予防の教室に参加したい。

大府市社会福祉協議会

認知症サポーター養成講座や認知症行方不明者捜索模擬訓練などを地域の方々と実施しています。地域の高齢者の居場所づくりなどを支援しています。

Tel0562-48-1805

こんな時に
ご相談ください

- 地域で認知症支援に取り組みたい。
- 認知症サポーター養成講座を受講したい、開催したい。
- お金の管理をが不安なので手伝って欲しい。（日常生活自立支援事業の利用）

愛知県若年性認知症総合支援センター （認知症介護研究・研修大府センター）

64歳以下で発症した「若年性認知症」について、若年性認知症の特性に配慮した医療・福祉・就労等の総合的な支援（電話相談、訪問相談、来所相談「予約制」）を行います。

Tel0562-45-6207
月～土 10:00～15:00（※祝日・年末年始を除く）

公益社団法人 認知症の人と家族の会

認知症の人と家族を代表する全国組織です。愛知県支部では、介護者家族による電話相談や、同じ立場にある介護者同士の交流会などの活動を行っています。

Tel0562-31-1911
平日 10:00～16:00

大府市成年後見センター

成年後見制度の利用に関する様々な相談に応じます。

Tel0562-38-5338

こんな時に
ご相談ください

- お金の管理ができず、悪徳商法の被害が心配。
- 成年後見制度の申し立て手続きについて知りたい。

国立長寿医療研究センター（認知症疾患医療センター）

認知症の適切な診断・治療を行うための「もの忘れセンター」（外来・入院）での診療や、介護者家族向けの「もの忘れ教室」、電話での専門医療相談などを行っています（もの忘れセンターは完全予約制です）。

予約センター
Tel0562-46-2547
（平日 13:00～16:00）

認知症専門医療相談
Tel0562-87-0827
（平日 10:00～15:00）

共和病院

看護師による認知症相談窓口を無料で行っています。また、もの忘れ外来や精神科医による治療（外来・入院）も行っています。（外来や相談は予約制です）

Tel0562-46-2222

早期発見・早期対応が重要 初期症状をチェック！

初期段階のサインを発見できれば、適切なケアにより症状を軽くしたり、進行を遅らせたりすることが可能な場合があります。早めにかかりつけ医や相談窓口にご相談しましょう。

- | | |
|--|---|
| ① ☐ 同じことを言ったり聞いたりする | ⑧ ☐ 慣れた所で道に迷った |
| ② ☐ 物の名前が出てこなくなった | ⑨ ☐ 財布などを盗まれたという |
| ③ ☐ 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた | ⑩ ☐ ささいなことで怒りっぽくなった |
| ④ ☐ 以前はあった関心や興味が失われた | ⑪ ☐ 蛇口、ガス栓の閉め忘れ、火の用心ができなくなった |
| ⑤ ☐ だらしくなった | ⑫ ☐ 複雑なテレビドラマが理解できない |
| ⑥ ☐ 日課をしなくなった | ⑬ ☐ 夜中に急に起きだして騒いだ |
| ⑦ ☐ 時間や場所の感覚が不確かになった | |

出典

「認知症チェックリスト 早期発見・早期対応に向けて 自分・家族で気づくヒント集」（リーフレット）
愛知県・国立長寿医療研究センター作成（2017年3月第二版発行）

認知症は高齢者に多くみられる病気ではありますが、65歳未満でも発症することがあり、これを「若年性認知症」と呼びます。若年性認知症の場合、働き盛りの世代であることが多く、経済的に問題や家庭への影響も大きく、早期発見・早期対応がより重要となります。

認知症サポーター養成講座

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、地域の中で認知症の人やそのご家族を温かく見守る「応援者」のことです。大府市では、1人でも多くのサポーターを養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちをめざしています。地域の集まりや職場、学校、各種グループなどでぜひ講座を開催してください。

内 容	認知症の理解（認知症の症状、予防、接し方など）、認知症サポーターについて 等
対 象	市内に在住・通勤・通学している人を中心とした集まり（5人以上）
時 間	60分～90分程度
会 場	会場は開催者でご用意ください。
申 込 み	大府市社会福祉協議会（大府市高齢者相談支援センター） 電 話 0562-45-5455

「認知症初期集中支援チーム」をご活用ください

医療、福祉、介護の専門職がチームをつくり、在宅の認知症またはその疑いのある方やご家族を訪問し、受診勧奨、各種サービスの紹介、介護者の負担軽減、環境調整などを行います。

こんな時に
ご相談ください

- 最近もの忘れがひどくて心配だけど、本人は病院に行きたがらない
- 認知症で介護サービスの利用が必要と思われるのに、本人が利用を拒否する
- 認知症の症状への対応が難しく、家族の介護負担が大きい 等

お問合せ（JR線西側の方）大府市高齢者相談支援センター 電 話 **0562-45-5455**
相談先（JR線東側の方）大府市高齢者相談支援センター東分室 電 話 **0562-48-1051**

『おおぶ・あったか 認知症安心支援ガイド』

発 行 大府市高齢障がい支援課
大府市中央町五丁目 70 番地
電話 0562-47-2111（代表）



インキは焼却や廃棄処分時に自然に分解しやすい植物油を使用
したベジタブルインキを使用しています。

発行／令和5年3月

おおぶ あったか

認知症安心支援ガイド

～ 認知症になっても 安心して暮らせるまちをめざして ～



大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例

大府市では、平成29年12月に、日本で初めてとなる認知症施策の基本条例として「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」を制定しました（平成30年4月1日施行）。本条例に基づき、市民や地域組織、事業者や関係機関と連携して、認知症に対する不安のないまちの実現を目指しています。

基本理念

- ① 認知症に関する正しい知識や理解に基づき、認知症の人や家族の視点に立って取り組むこと
- ② 認知症の人をはじめ、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指すこと
- ③ 市民、事業者、地域組織、関係機関及び市が、その役割や責務を認識し、相互に連携すること

市民・事業者・地域組織・関係機関の役割

- 認知症に関する理解を深めること
- お互いの取組や市の施策に協力すること など

市の責務と施策

- 認知症の人や家族の要望に基づく施策の推進
- 「正しい知識の普及」「予防」「認知症の人や家族への支援」に関する具体的な施策の実施

「認知症に対する不安のないまち・おおぶ」の実現

はじめに

高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の急増が見込まれる中、その対応は我が国のみならず世界共通の課題となっています。本市では認知症に関して、早くから「認知症になっても不安のないまち・おおぶ」の実現に向けた取組を推進してまいりました。平成30年からは「認知症サポーター養成2万人チャレンジ!」を掲げ、令和4年7月に達成しました。この取組は厚生労働省主催「第11回健康寿命をのばそう! アワード」で厚生労働大臣優秀賞を受賞しました。認知症に対する皆さまの温かい想いが受賞につながったものと考えています。

認知症の進行に応じた周囲の適切な対応や各種制度の活用によって、認知症になっても住み慣れた地域でご本人の望む暮らしを続けることが可能です。認知症が進行しても、笑顔で生き生きと生活が継続できるよう、今後も精力的に取り組んでまいります。



大府市長
岡村 秀人

大府市